



2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

CREATIVE CONNECTIVITY

—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社（6798）

2025年10月28日

- 売上高は円高影響もあり前年同期比2.0%減の231億円に、営業利益は前年同期の1.0億円から△1.1億円の減少するも、売上高、営業利益、中間純利益はともに期初予想を上回って進捗

単位：百万円

	FY2024 1H 実績	FY2025 1H 実績	増減率	FY2025 1H 業績予想
売上高	23,614	23,152	△2.0%	22,000
営業利益 (営業利益率)	108 (0.5%)	△117 (△0.5%)	—	△400 (△1.8%)
経常利益	74	△125	—	△150
中間純利益	△287	△193	—	△300
1株当たり中間純利益（円）	△45.35	△30.63	—	△47.35
為替平均レート（1USD=）	153.17円	146.13円		145.00円

- CS事業部：車載、家電市場が好調に推移するも、情報通信、産機市場が低調で前年を下回る
- SCI事業部：家電市場が前年を割り込むも、車載、産機市場が好調で赤字幅を縮小
- イノベーションセンター：通信モジュール事業の移管と、音声分析・筋電センサーの事業化の遅れにより低調

		FY2024 1H 実績	FY2025 1H 実績	前年同期比		コメント 単位：百万円
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	11,519	11,091	△427	△3.7%	■ アミューズメント関連コネクタが好調 ■ E-Bike、2輪用コネクタが堅調 ■ スマートフォン向けコネクタが低調 ■ ヘルスケア関連コネクタが低調
	営業利益	1,160	660	△500	△43.1%	
SCI 事業部	売上高	11,982	12,039	+57	+0.5%	■ サニタリー用リモコンが好調 ■ 車両用およびE-Bike用カメラモジュール、 操作ユニットが好調 ■ スマート家電・住設用リモコン、ユニット が低調
	営業利益	△851	△533	+317	—	
イノベーション センター	売上高	113	21	△92	△81.2%	■ Bluetooth®モジュール、Sub-GHz通信シ ステムの減少に加え、6月より通信モ ジュール事業をSCI事業部に移管
	営業利益	△200	△244	△43	—	
合計	売上高	23,614	23,152	△462	△2.0%	
	営業利益	108	△117	△226	—	
為替平均レート（1USD=）		153.17円	146.13円			

- CS事業部：車載・産機市場のコネクタが伸長し、2Qは売上・営業利益ともに改善
- SCI事業部：車両用カメラモジュール、操作ユニットが伸長し、2Qは売上・営業利益ともに改善
- イノベーションセンター：6月より通信モジュール事業をSCIに移管したため、2Qは売上減少（ ）：前年同期比
単位：百万円

		FY2025		1Q比 増減額	1Q → 2Qのトレンド
		1Q	2Q		
CS 事業部	売上高	(△8.9%) 5,207	(+1.4%) 5,884	+677	堅調に推移（1Qより増加） ■ 再生可能エネルギー関連コネクタ増加 ■ 2輪用コネクタ拡大
	営業利益	(△59.8%) 229	(△27.0%) 431	+202	
SCI 事業部	売上高	(△2.4%) 5,801	(+3.3%) 6,238	+436	堅調に推移（1Qより増加） ■ 車両用カメラモジュール、操作ユニットが増加 ■ E-Bike操作ユニット、スイッチが堅調
	営業利益	(－) △365	(－) △168	+197	
イノベーション センター	売上高	(△67.9%) 20	(△98.7%) 0	△19	全社的な効率性を考慮し、6月より通信モジュール事業をSCIに移管
	営業利益	(－) △144	(－) △99	+44	
合計	売上高	(△5.9%) 11,029	(+2.0%) 12,123	+1,093	
	営業利益	(－) △280	(△5.6%) 163	+443	

- 情報通信市場はスマートフォン用コネクタが低調で前年を下回る
- 車載市場はコネクタ、カメラモジュール、操作ユニットが好調で前年を上回る
- 産機市場はヘルスケア関連が減少し、再生エネルギー・インフラ関連で補うも前年を下回る

単位：百万円

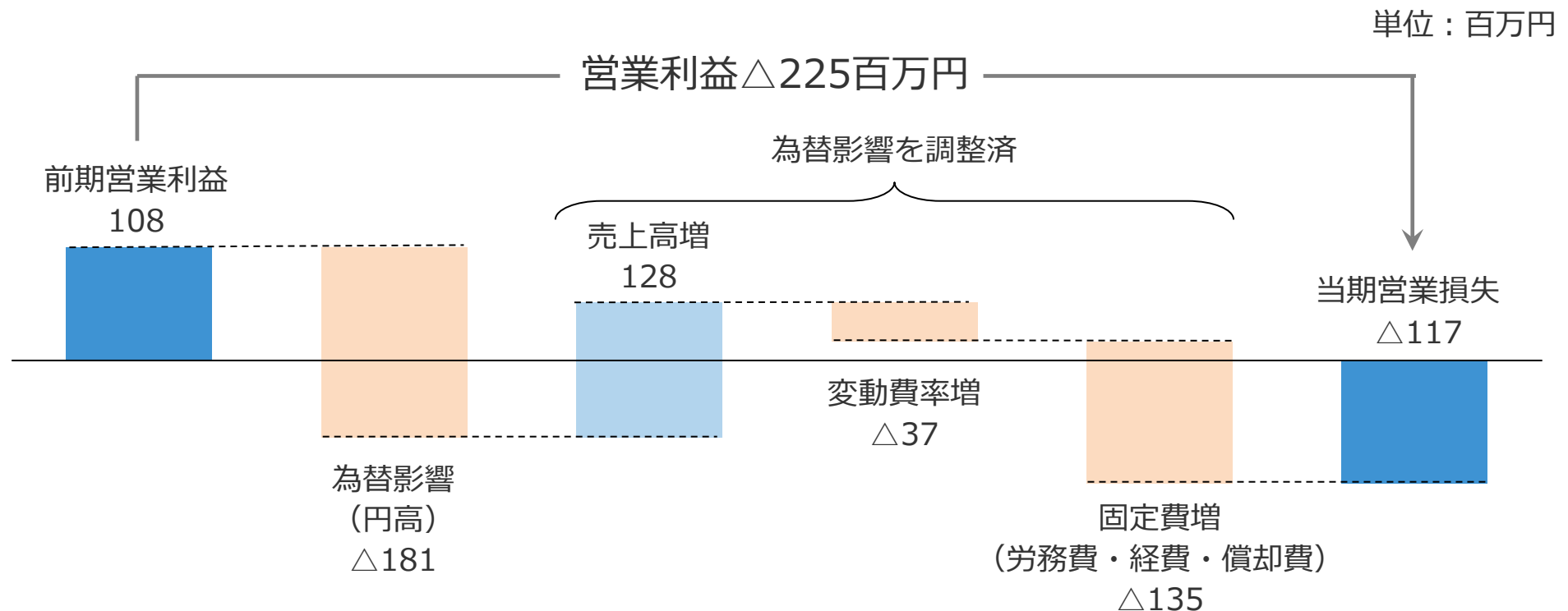
		FY2024 1H実績	FY2025 1H実績	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
市場別	情報通信	4,052	3,196	△856	△21.1%	■ スマートフォン用コネクタが低調
	家電	10,026	10,028	+2	+0.0%	■ アミューズメント向けコネクタ、サニタリー用リモコンが好調 ■ スマート家電・住設用リモコン、ユニットが低調
	車載	7,145	7,801	+655	+9.2%	■ カメラモジュール、操作ユニットが好調
	産機・その他	2,390	2,126	△263	△11.0%	■ ヘルスケア関連は一部プロジェクト中止により減少 ■ 再生エネルギー・インフラ関連は堅調
合計		23,614	23,152	△462	△2.0%	
為替平均レート (1USD=)		153.17円	146.13円			

- 日本はサニタリー用リモコン、車両用カメラモジュール・操作ユニットが好調で前年を上回る
- 北米はスマート家電・住設用ユニットが低調で前年を下回る

単位：百万円

		FY2024 1H実績	FY2025 1H実績	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
地域別	日本	7,201	8,214	+1,012	+14.1%	■ 家電：サニタリー用リモコンが好調 ■ 車載：車両用カメラモジュール、E-Bike用操作ユニットが増加
	北米	6,008	4,878	△1,129	△18.8%	■ 車載：車両用操作ユニットが好調、タッチセンサーが減少 ■ 家電：スマート家電用ユニット・リモコン、住設用ユニットが低調
	中国	5,102	4,959	△143	△2.8%	■ 情通：スマートフォン用コネクタが減少 ■ 車載：EV用コネクタが増加
	その他アジア (含む台湾)	4,233	4,145	△87	△2.1%	■ 情通：スマートフォン用コネクタが減少 ■ 家電：エアコン用リモコンが堅調
	欧州	1,068	954	△114	△10.7%	■ 家電：住設用リモコンが低調
合計		23,614	23,152	△462	△2.0%	
為替平均レート (1USD=)		153.17円	146.13円	※地域別内訳数値は、社内管理数値を使用しております。		

- 為替レートが前年同期比で7円程度円高に振れたことによる影響、主にSMK技術展費用の計上等による固定費増により、前年同期比で営業利益が減少
- 下期以降は構造改革プログラムによる固定費削減（国内労務費減）により営業利益の改善を見込む

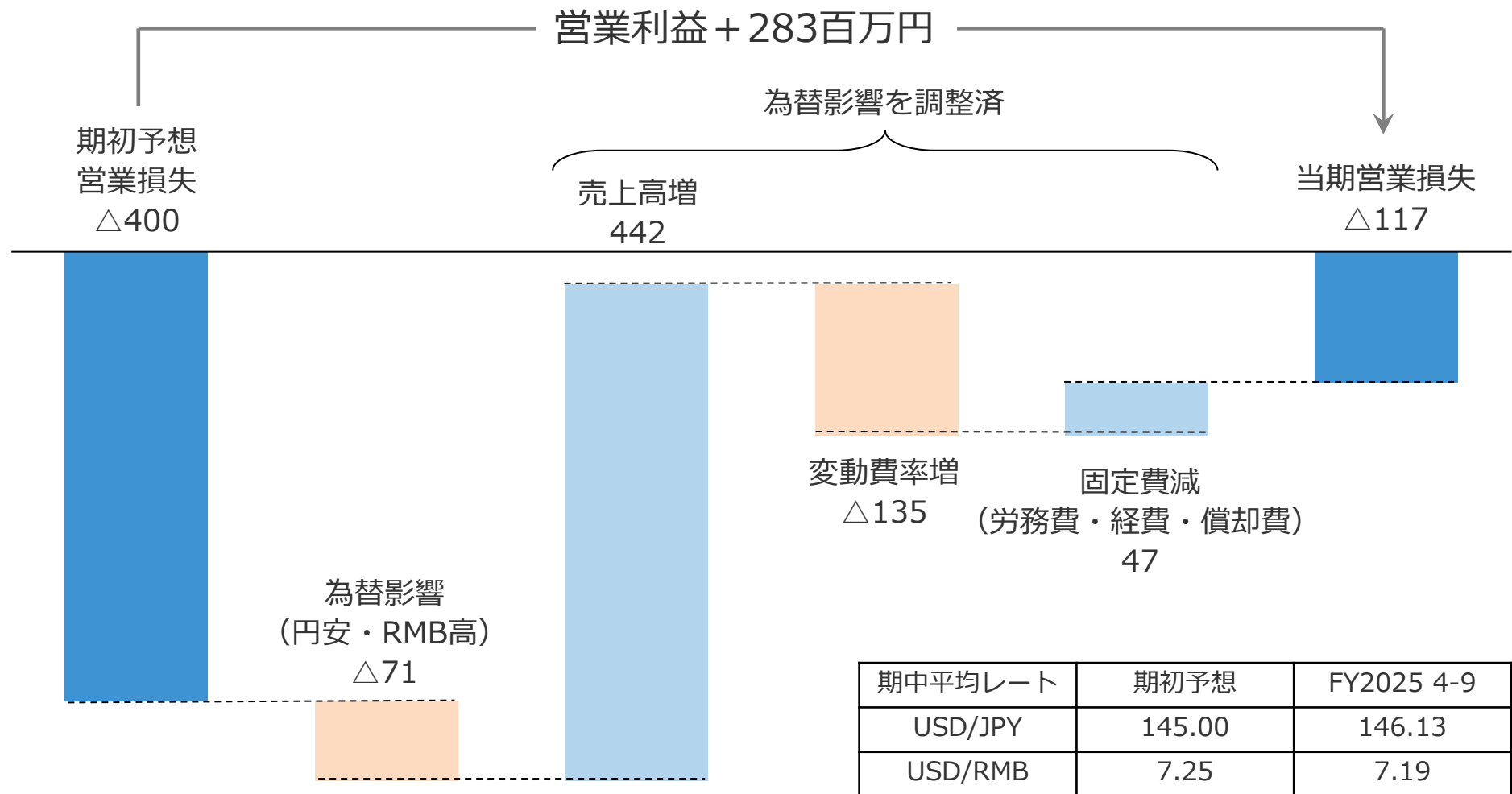


期中平均レート	FY2024 4-9	FY2025 4-9
USD/JPY	153.17	146.13

為替感応度（1円当たり年間）
売上高 200百万円 営業利益 50百万円

- 期初予想に対しては、売上高の増加により営業利益は改善

単位：百万円



- 通期業績予想は、2025/5/8公表の期初予想から修正なし
- 下期については、売上高は上期と同水準を見込んでおり、利益面では構造改革プログラムによる固定費削減や原価率改善により、期初予想並みの着地を見込む

単位：百万円

	FY2024実績	FY2025予想	増減率
売上高	48,051	46,000	△4.3%
営業利益 (営業利益率)	△220 (△0.5%)	500 (1.1%)	—
経常利益	549	1,000	+82.0%
当期純利益	△1,884	600	—
1株当たり当期純利益 (円)	△297.39	94.70	—
配当金 (円)	140.00 (中間 50/期末 90) 期末に記念配当40含む	100.00 (中間 50/期末 50)	
為替平均レート (1USD=)	152.65円	1H 146.13円 2H 145.00円	

単位：百万円

		FY2024 実績	FY2025予想			下期予想コメント
			上期実績	下期予想	通期予想	
CS 事業部	売上高	22,156	11,091	10,482	21,573	■ スマートフォン用とアミューズメント関連は売上減少見込も、固定費削減により営業利益は上期並みを想定
	営業利益	1,534	660	615	1,275	
SCI 事業部	売上高	25,643	12,039	12,325	24,364	■ 車載関連の売上増加に加え、固定費削減と原価率改善により黒字を予想
	営業利益	△1,308	△533	197	△336	
イノベーション センター	売上高	251	21	41	62	■ 構造改革プログラムによる固定費削減により赤字縮小
	営業利益	△446	△244	△196	△440	
合計	売上高	48,051	23,152	22,848	46,000	
	営業利益	△220	△117	617	500	
為替平均レート（1USD=）		152.65円	146.13円	145.00円	1H：146.13円 2H：145.00円	

単位：百万円

	2025/3 (A)	2025/9 (B)	増減 (B) - (A)
資産	57,684	56,243	△1,441
現預金	10,475	9,805	△669
受取手形及び売掛金	13,935	12,418	△1,517
棚卸資産	7,673	7,630	△42
固定資産	24,535	25,172	+637
負債	28,462	27,209	△1,253
買掛金及び未払金	6,901	6,187	△714
有利子負債	15,616	15,052	△563
純資産	29,221	29,033	△188
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	50.7%	51.6%	+0.9%

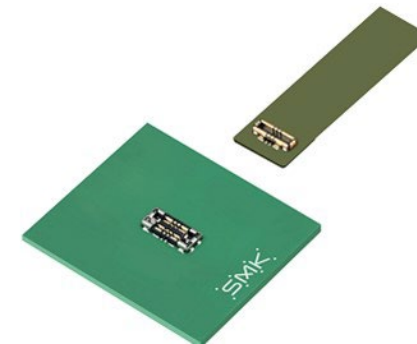
単位 : 百万円

	FY2024 4-9	FY2025 4-9
営業キャッシュフロー	1,570	1,068
運転資金	920	1,228
税引前利益	△7	△122
減価償却費	1,146	1,134
事業構造改革費用の支払額	—	△743
その他	△488	△428
投資キャッシュフロー	△1,012	△1,125
フリーキャッシュフロー	558	△57
財務キャッシュフロー	324	△1,188
有利子負債の増減額	643	△616
自己株式の増減額	△1	△1
配当金の支払金額	△318	△571
現金等期首残高	10,197	10,415
現金等期末残高	10,882	9,734

■ 新製品プレスリリース

■ バッテリー接続用 基板対FPCコネクタ「FB-12シリーズ」をラインアップに追加

- ・ 大電流対応
定格電流15Aに対応し、従来製品「FB-8シリーズ」と比べて約2倍の電流容量を実現
- ・ 省スペース設計
嵌合高さ0.6mm、外形寸法1.9mm×4.4mmとコンパクト化を追求し、
基板上の占有面積を従来比で約16%削減
- ・ 高信頼性の接触構造
端子接点部にダブル接点構造を採用し、嵌合時の接触安定性を向上



2025年9月10日 プレスリリース https://www.smk.co.jp/ja/newsroom/press-release-product/2025/0910_1183cs

■ 非接触型の睡眠深度検知ソリューション「Milweb® Sleep」を開発 ーネット接続不要、ベッドサイドに置くだけで睡眠状態を検知ー

- ・ 非接触・装着不要
24GHz帯のミリ波レーダーを採用、ベッドサイドに置くだけで微細な体動を検知
- ・ 睡眠検知アルゴリズム
独自のアルゴリズムにより「覚醒・レム睡眠・浅い睡眠・深い睡眠」の4段階を高精度に推定・可視化
- ・ リアルタイム処理
クラウド接続不要、センサー単体で睡眠深度を即時判定
- ・ Matter®対応
国際標準規格「Matter®」に準拠し、メーカーを超えたスマート家電との連携が可能
照明・ブラインドなどとの連携により睡眠状態に応じた自動環境調整を実現



2025年10月22日 プレスリリース https://www.smk.co.jp/ja/newsroom/press-release-product/2025/1022_1184sci

| 統合報告書 2025（日本語）

- ◆ 2025年10月24日公開
- ◆ https://www.smk.co.jp/ja/ir/library/integrated_report
- ◆ 主な変更点
 - ・ 役員メッセージ（社長、CTO、CFO、人事担当）
 - ・ 価値創造の歴史
 - ・ 構造改革プログラム、成長戦略の進捗



| 展示会

■ SMK技術展 TEXPO2025

会期：2025年7月2日～4日

会場：東京国際フォーラム・ホールE2

テーマ：電子部品からソリューションへ。

- 100年の歩みや最新の技術・サービスを紹介
- 出展製品数 225点



■ 人とくるまのテクノロジー展 2025

会期：2025年5月21日～23日

会場：パシフィコ横浜

主な展示品

- ・ ライトアングル低背FAKRAコネクタ
- ・ ロック付超小型同軸コネクタ
- ・ 4P防水コネクタ
- ・ Washable Textile®コネクタ



■ モーター技術展 2025

会期：2025年7月23日～25日

会場：東京ビッグサイト

主な展示品

- ・ Active Floating™
- ・ 車載用USB Type-C™対応ロック付コネクタ
- ・ ワンアクションFPC/FFCコネクタ
- ・ 3軸フローティング基板対基板コネクタ(縦型)



■ 健康経営 EXPO 2025

会期：2025年9月10日～12日

会場：幕張メッセ 呼吸音で睡眠の質を分析

主な展示品

- ・ 音声による分析技術 (Canary Speech)
- ・ 呼吸音による高精度な睡眠の質の可視化



注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

商標について

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- Matterは、Connectivity Standards Allianceの商標です。
- USB Type-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- Active Floating、MilwebおよびTextileは、SMK株式会社の商標または登録商標です。
- その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標または登録商標です。